

Summer Group Exhibition

「もっとパッションを」 - Yutaka Kikutake Gallery 10 周年記念展

2025 年 8 月 2 日（土） - 8 月 30 日（土） *夏季休廊 8 月 10 日-18 日

8 年？ いや、10 年。 2015 年に YKG Gallery として緩やかにスタートしたギャラリーのプロジェクト。2017 年に名称を Yutaka Kikutake Gallery に改めてから 8 年、2025 年までの 10 年間、様々な偶然に導かれ、出会いに恵まれて、まだまだ短い軌跡ではありますが素晴らしいプログラムを築き上げてくることができました。アーティストの皆さま、そして、ギャラリーを応援してくださる皆さま、心よりお礼申し上げます。

10 周年を記念して、六本木・京橋の 2 つのギャラリースペースにて、夏のひとときグループ展「もっとパッションを」を開催するとともに、アーティストとともに作り上げた ZINE『10 年』を刊行いたします。みんなで持ち寄った”10 年”は、作品のことはもちろん、哲学や科学、あるいは日々の暮らしに触れる充実したものとなり、雑誌『疾駆/chic』を通じて芸術と私たちの日常を接続しようと試みていたことが、ここで表れたようでもあります。

一方、この 10 年の間、いえ、もっと以前から、多様な魅力を放つアーティストや作品の傍らにいる人間として、「パッションが足りないのではないか？」とある種の逡巡を繰り返してきた実感も確かにあります。数々のためらいやパッションの不十分感と伴走し続けた結果、ようやく最近になって「もっとパッションを」と言えるようになった、そう感じています。

芸術は、人間にとって本性を懸けられるものであり、その在り様は誰にとっても普遍のものである—以前から変わらないこの想いに対してパッションを燃やし続け、実行力をもって活動を続けていきたいと思います。そして、普遍性とは、いつも変わらぬ何かのことではなく、常に新鮮さをもって人に驚きと活力をもたらしてくれるエネルギーの謂である—そう信じています。Yutaka Kikutake Gallery として 10 年の歴史を積み重ねた、ではなく、10 年毎日新鮮な日々を生きたことの証として ZINE を上梓し、展覧会を開催したいと思います。

■疾駆 ZINE vol.2 『10 年』刊行のご案内

発行：Yutaka Kikutake Gallery Books 刊行日：2025 年 8 月 2 日 価格：1,500 円（税別）

執筆：楊博、平川紀道、国谷隆志、松崎友哉、三瓶玲奈、毛利悠子、飯田竜太、新里明士、小左誠一郎、鈴木ヒラク、田幡浩一、小林エリカ、菊竹寛

表紙：奈良美智 アートディレクション：田中義久 デザイン：西倉美朔

■グループ展「もっとパッションを」参加作家

磯谷博史、小左誠一郎、小林エリカ、齊藤七海、白旗花呼、杉浦邦恵、鈴木ヒラク、田幡浩一、新里明士、Nerhol、平川紀道、三瓶玲奈、ミヤギフトシ、毛利悠子、森夕香、トレヴァー・ヤン、楊博